

ORICON

---

2005年3月期第3四半期 (会社説明会)

オリコン株式会社

証券コード: 4800

<http://www.oricon.jp/>

*Feb 24, 2005*

## 経営の基本方針

当社グループは、音楽産業の発展に貢献することを社是としており、  
「オリコンランキング」というユニークなコンテンツをコア・コンピタンスとして  
音楽配信を軸としたインターネットメディア事業を展開し、  
雑誌や携帯といった他のメディアがこれを補完することで事業基盤を拡充させ、  
成長性と収益性、そして社会的意義の高い企業を目指します。

# 会社概要

(2004年12月31日現在)



- **社名:** オリコン株式会社  
(旧社名:オリコン・グローバルエンタテインメント株式会社)
- **設立:** 1999年10月1日
- **株式上場:** 2000年11月6日 大阪証券取引所ヘラクレス市場
- **資本金:** 1,064,557千円
- **事業内容(連結):** 音楽市場調査、音楽楽曲データベース、デジタルコンテンツ、雑誌・書籍出版 等
- **従業員数:** 連結157名
- **連結子会社:** オリコン・エンタテインメント(株)、オリコン・メディカル(株)、オリコン・ワールドエージェンシー(株)、オリコン・デジタル・ディストリビューション(株)、パトリス・ファールブル・ジャパン(株)、(株)フローバ、海外現法2社(韓国、台湾)
- **代表取締役  
及び社外取締役:**
  - 代表取締役社長  
兼 CEO **小池 恒**
  - 取締役(非常勤) 松尾 修吾(元・ソニー・ミュージックエンタテインメント社長、会長、元・レコード協会会長)
  - 取締役(非常勤) 早川 吉春(元・中央監査法人代表社員、現・UFJホールディングス監査役)
- **主幹事証券:** 日興コーディアル証券
- **主要取引銀行:** 三井住友(新橋)、みずほ(六本木)、東京三菱(六本木)、東京都民(本店)

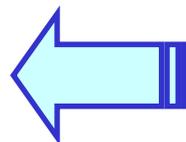
コーポレートガバナンス機能の  
充実と経営陣の一層の強化のため、  
社外取締役が就任。

# 株式情報

(2004年12月31日現在)



- 発行済株式数: 79,668株
- 総議決権数: 77,553株



平成16年12月20日付をもって普通株式1株を3株とする株式分割が行われました。

- 大株主の状況:  
(2004年9月30日現在)

氏名または名称	持ち株比率(%)
(有)リトルポンド	33.61
小池 恒	11.44
小池尚子	3.93
日本マスタートラスト信用銀行(株)(信託口)	3.07
小池秀効	2.64
小池結実	2.43
ゴールドマンサックスインターナショナル	1.86
(株)ディーエイチシー	1.59
(株)エヌ・ティ・ティエックス	1.51
(株)角川ホールディングス	1.51
ヤフー(株)	1.51
ブルースター(株)	1.32
大阪証券金融(株)	1.14

(注) 当社は自己株式を保有しておりますが、当該株式には議決権がないため、上記の表からは除外しております。

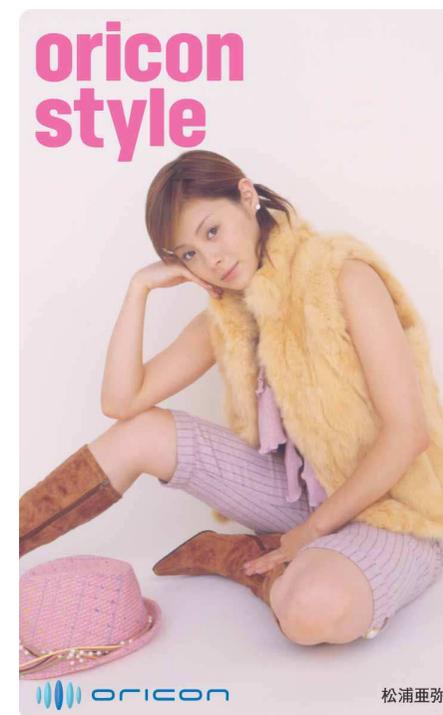
# 株主優待制度 (2005年2月18日変更)



毎年9月30日および3月31日現在の株主および実質株主に対して、当社オリジナルの「ミュージックギフトカード(500円券)」を年2回贈呈。

なお、平成16年12月20日付をもって普通株式1株を3株とする株式分割を行いましたので、贈呈する基準を以下のとおりに変更。

変更前		変更後	
所有株式数	ギフトカード	所有株式数	ギフトカード
1株～9株	2枚	1株～2株	1枚
		3株～9株	2枚
10株以上	6枚	10株～29株	4枚
		30株以上	6枚



# 第6期第3四半期 連結P/L

(2004年4月1日～2004年12月31日)

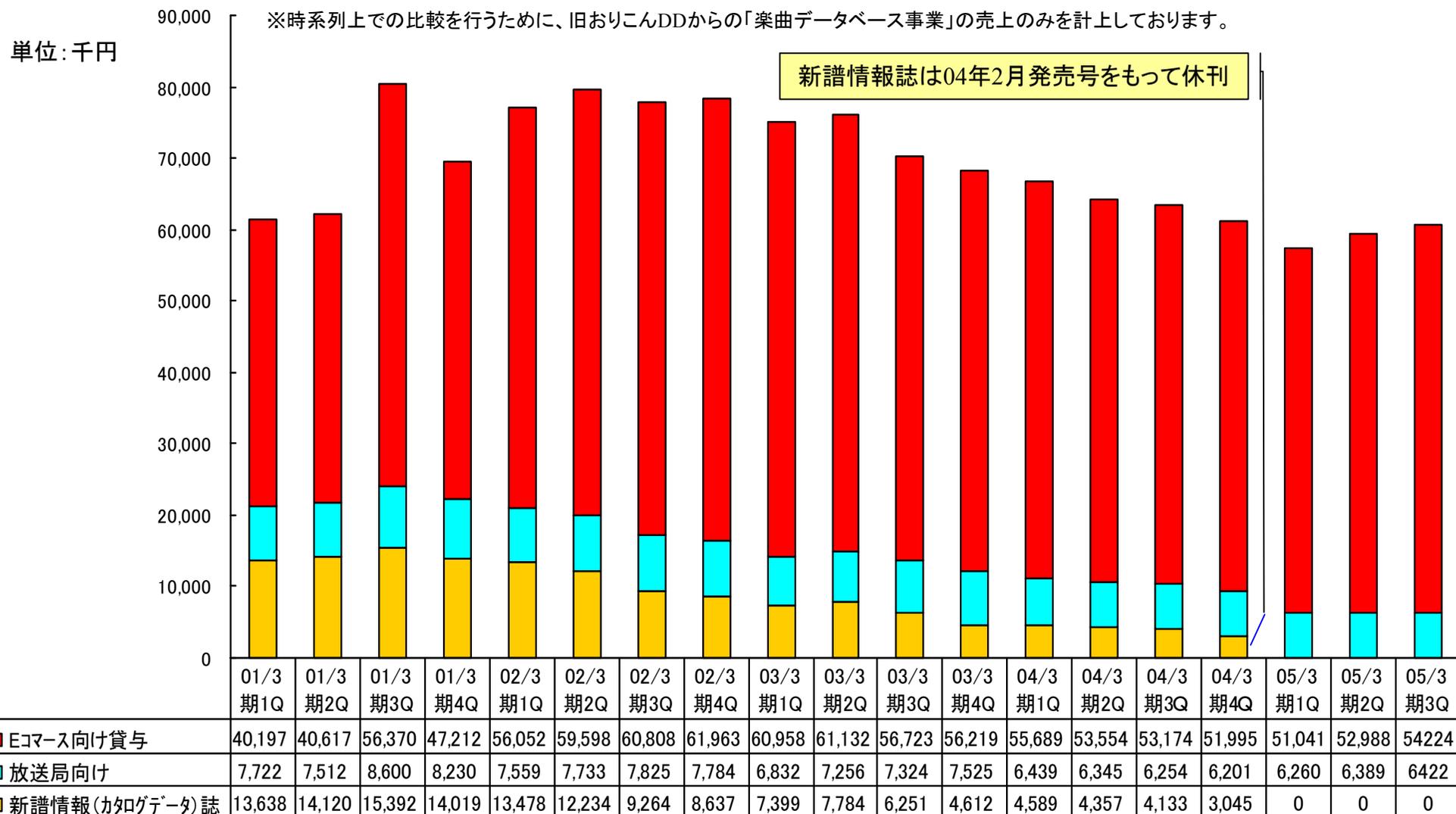


(単位:千円)	第6期第3四半期 4/1/04～12/31/04	(比率)	対前年同期増減率	第5期第3四半期 4/1/03～12/31/03	(比率)	第5期通期 4/1/03～3/31/04	(比率)
売上高	4,446,809	100%	17.2%	3,793,764	100%	4,828,278	100%
データベース事業	269,847	6.1%	7.4%	251,151	6.6%	344,058	7.1%
メディア事業	4,149,295	93.3%	17.1%	3,542,612	93.4%	4,478,350	92.8%
パトリス・ファール事業	27,667	0.6%	—	—	—	5,869	0.1%
売上原価	2,843,143	63.9%	22.3%	2,325,571	61.3%	2,985,248	61.8%
差引売上総利益	1,602,357	36.0%	7.7%	1,487,885	39.2%	1,876,839	38.9%
販管費	1,476,553	33.2%	43.7%	1,027,633	27.1%	1,398,195	29.0%
営業利益	125,803	2.8%	▲72.7%	460,252	12.1%	478,643	9.9%
経常利益	112,348	2.5%	▲74.7%	444,055	11.7%	458,627	9.5%
当期利益	3,264	0.1%	▲98.4%	201,970	5.3%	133,290	2.8%

## 第3四半期業績に影響を及ぼした大きな要因

- ①音楽配信プロジェクト立ち上げに伴い、当社WEBサイトの「oricon style」への大幅リニューアルに要した費用および音楽配信のシステム構築に要した費用
- ②第三代携帯電話向けコンテンツの制作に係わる費用
- ③雑誌「WO」を「oricon style」に題号変更・誌面改変を行った際に生じた制作費の増加

# データベース事業 (売上高構成推移)

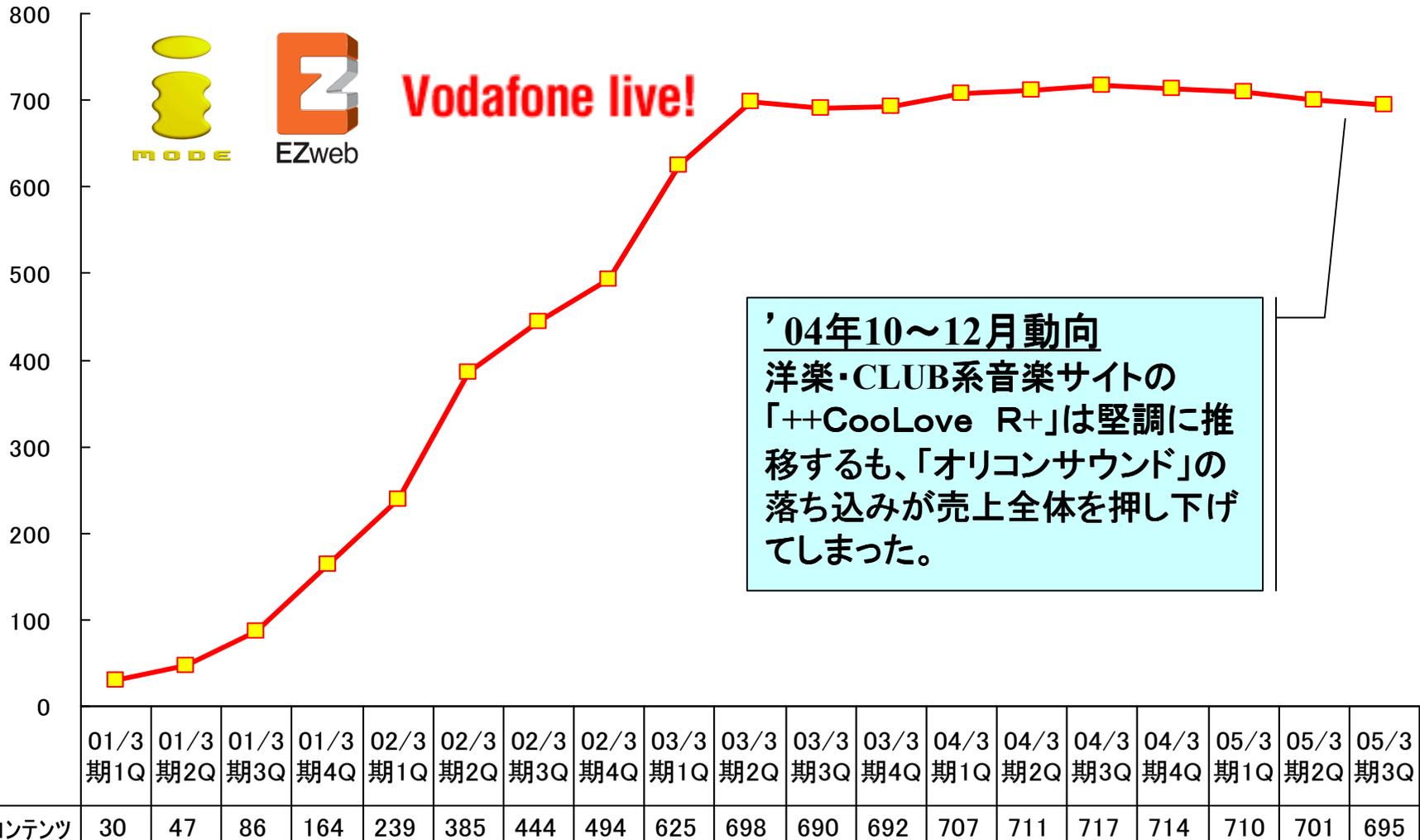


※EC: EC事業者向けデータベース提供、放送局向け: CD管理用データベース提供、新譜情報誌: 「月刊データベース」(新譜のカタログデータ誌)関連売上

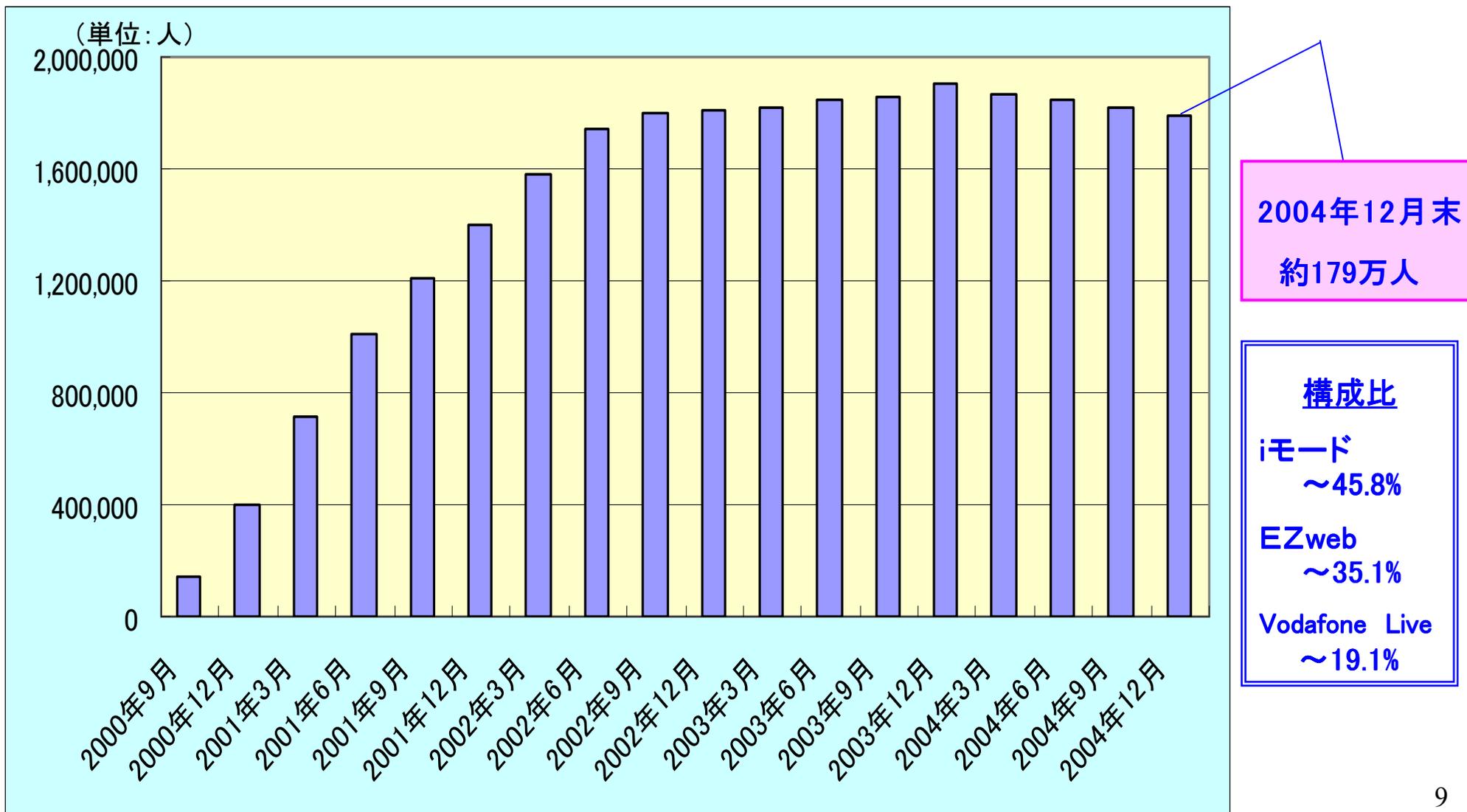
# メディア事業—デジタルコンテンツ部門— (売上高推移)



単位:百万円



# 「デジタルコンテンツ」有料登録者の推移



# 洋楽・CLUB系音楽サイトの有料会員数推移



単位:人

600,000  
500,000  
400,000  
300,000  
200,000  
100,000  
0



2004年12月よりクラブ系ミュージック約3000曲を  
ラインナップして「着うた®」のサービスを開始

'03.04 '03.05 '03.06 '03.07 '03.08 '03.09 '03.10 '03.11 '03.12 '04.01 '04.02 '04.03 '04.04 '04.05 '04.06 '04.07 '04.08 '04.09 '04.10 '04.11 '04.12



## 「オリコンサウンド」

(iモード、EZweb、Vodafone live)

総合音楽サイト  
最新曲の着信メロディ配信、着信  
ボイス、各種オリコンランキングから  
音楽情報まで網羅



## 「WO洋楽Collection」

(iモード)

洋楽の総合着信メロディ  
サイト



## 「++CooLoveR+(クールラバー)」(iモード)

## 「オリコン洋楽&CLUB」(EZweb)

## 「洋楽&CLUB」(Vodafone live)

洋楽・CLUB系着信メロディ配信から  
各種CLUB情報を提供  
洋楽系サイトではNo. 1の存在



## 「Oricon音楽情報」

(EZweb、Vodafone live)

オリコンランキングと音楽  
情報を提供



## 「声優+アニメ チャンネル」

(iモード)

声優やアニメの着信メロディ、  
待受画像コンテンツを提供



## 「デビューしようよ」

(iモード)

オーディション関係情報  
サイト

# メディア事業

## —雑誌メディア一覧—



「ORIGINAL CONFIDENCE」  
エンタテインメントビジネス  
マガジン



「oricon style」  
週刊エンタテインメント誌



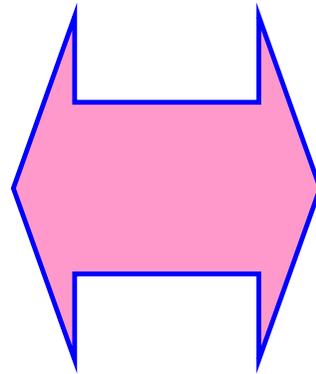
「月刊デ・ビュー」  
オーディション情報誌



「キッズ スタイル」  
「ベビー スタイル」  
キッズ／ベビー  
ファッション誌

# メディア事業

—雑誌とWEBの連動性強化—



メディアを連携させることによる相乗効果を活用した事業展開

# 音楽配信を軸としたインターネットメディア事業について

---

# 「Oricon Style」への大幅リニューアル (2004年4月～)



ユニークユーザー数 ~ 101万人  
ページビュー ~ 2600万/月  
(ネット・レーティングス社調べ)

音楽配信の“ポータル的”役割を果たすページとして、今後、来訪者が大幅に増加。試聴も出来ることから800万人を超えるユニークユーザー数となる見込み。

## 提携が内定している新聞社系サイト

サイト名	ユニークユーザー数
アサヒ・コム (asahi.com)	830
毎日新聞MSN	1100
読売オンライン (※Web報知を含む)	627
日刊スポーツ・com	277
中日Web Press	50
デイリースポーツ・オンライン	81
スポニチ・アネックス	302
サンスポ・com	309
西日本新聞ホームページ	41
北海道新聞ホームページ	33
合計	3650

(単位:万人)

3650万人 × 66% (「芸能・文化・エンタメ・音楽」コーナーへのアクセス率) × 30% (試聴・ダウンロード率) = 約720万人

# インターネットメディア事業の海外展開①

— 韓国映像配信最大手・シネウェルカム社子会社化 —



## シネウェルカム社(C社)

インターネット先進国である韓国において、マーケットシェアを伸ばし、世界最高レベルの映像配信(VOD)実績とノウハウを有す。

当社とC社とが、日本・韓国双方のコンテンツを各々が許諾を得て、提供し合うことが可能になる。

C社の持つ最高レベルのネットサーバー環境などのインターネット関連インフラを当社事業において利用可。



当社は、C社が独自に開発したインターネット再生プレイヤーなどの技術を日本国内においてASPサービスとして、他のVODサービス会社などに対して提供。

当社は、C社を日本の株式市場において新規公開させることを視野に入れ、C社の事業の成長を加速させる。

## インターネットメディア事業の海外展開②

—スペインに映画制作を目的とした合併会社を設立—



### Zahori Media, S. L. (サオリ・メディア社)

ステファン・ソルラー氏らと共同で、スペイン マドリッド市に設立。

当社のファイナンス面のリスクは出資金の範囲内に限定。(映画制作に関わる直接的な資金は、政府系補助金など外部から調達。)

すでに本年中に映画3本の制作が具体化。

当社は、映画の企画段階から関与し、日本人俳優がヨーロッパ進出を果たすことをサポート。

ヨーロッパの良質な映画について、東アジアでのVOD化権をサオリ社を通じて獲得し、シネウェルカム社の技術・ノウハウによって配信。



#### ステファン・ソルラー氏

スペイン在住のフランス人映画プロデューサー。これまでに30本以上の商業映画を制作した実績をもつ。

代表作 : 「East-West」(1999) 監督: Regis Wargnier

カトリーヌ・ドヌーブ主演、米国アカデミー賞外国映画部門ノミネート(1999)

「Paisaje en la niebla」(1988) 監督: Thodoros Angelopoulos

ベネチア映画祭銀獅子賞受賞(1988)

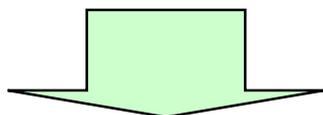
# 音楽配信プロジェクトの現状①

## —本格的サービス開始の延期について—



○オープニング特別企画の「Kinki Kids の未発売ライブ音源・期間限定独占配信」において、課金決済システムにエラーが発生。サービスを一旦、休止し、システム面への応急的な処置を施して再開。その後は正常に稼動。

○システムを万全のものにして本格的にサービスを開始すべきと判断し、第三者によるシステム監査を導入することを決定。それに要する最短の期間として1ヶ月半を要すことから、スタートを2月8日から3月23日に延期。



現在、株式会社CSKによるシステム監査が進行中。

先行配信時に頂戴した「ユーザーの声」を反映させ、サービスのフローやサイトのデザインなどを利便性の高いものに改良中。

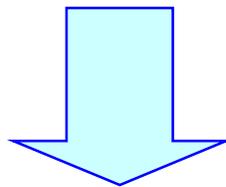
## 音楽配信プロジェクトの現状②

— 韓国アーティストの音楽配信化権獲得について —



株式会社ミュータラ(本社:韓国・ソウル市)と提携し、韓国アーティストの楽曲について日本国内での音楽配信化権獲得を推進。

現在までに、20名強の韓国アーティストの日本国内未発売CDアルバムの配信化権を獲得。(契約は、アーティスト毎ではなく、アルバム毎に締結。)



**音楽配信のコンテンツ拡充を強化**

イ・ビョンホン	キム・ヒョンチョル
シン・スンフン	SG Wanna Be
リュ・シウォン	Vibe
イ・スンハン	イ・ジョンヒョン
リュ	Tei
グ・ボンスン&ジャン・ドンコン	Bubbles Sisters
パク・ハヨビ	キム・ヒョンジュン
キム・コンモ	VA
チョ・ソンモ	ユ・ヨハ
Brown Eyes	アン・ジェウク
WAX	イ・スンチョル

日本国内配信化権を獲得したCDアルバムのアーティスト

オリコン株式会社

IR用ホームページ <http://www.oricon.jp/>

Oricon style (エンタテインメント用ホームページ)  
<http://www.oricon.co.jp/>

この資料に掲載されている今後の戦略・見通し等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通し等のみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。